

# 令和2年国勢調査結果（確定値）概要

- 令和2年国勢調査（令和2年10月1日現在）では、皆様に御協力いただき、ありがとうございました。この調査は、調査時に日本に住んでいる全ての人を対象に、人口、世帯構成などを把握するために行われる統計調査で、大正9年から5年ごとに実施されており、今回が21回目の調査となります。
- 人口等基本集計の結果（確定値）が令和3年11月30日に総務省から公表されましたので、川崎市の概要をお知らせします。

（注）数値の単位未満は四捨五入を原則とします。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。

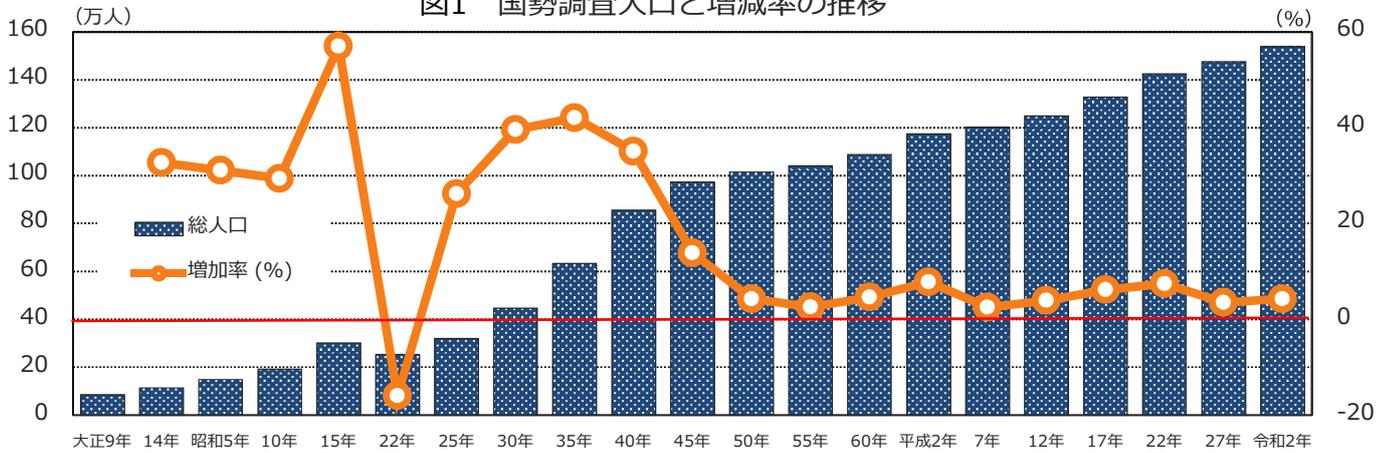
## 令和2年10月1日現在の人口と世帯数

（人）、（世帯）

	全市	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全国（参考）
人口	1,538,262	232,965	171,119	263,683	234,328	233,728	221,734	180,705	126,146,099
男	775,772	125,091	86,705	133,883	116,338	113,386	112,978	87,391	61,349,581
女	762,490	107,874	84,414	129,800	117,990	120,342	108,756	93,314	64,796,518
世帯数	747,452	123,515	80,088	134,763	113,791	102,317	113,583	79,395	55,830,154

## 人口総数

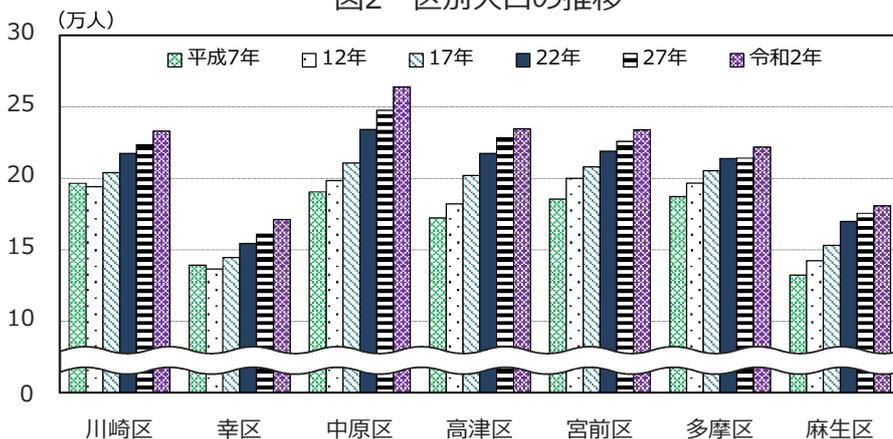
図1 国勢調査人口と増減率の推移



（注）現在の市域に組み替えた人口

- 令和2年10月1日現在の川崎市の人口は、1,538,262人で、前回の平成27年国勢調査（以下「前回調査」）結果（1,475,213人）と比べて63,049人（4.3%）増加  
川崎市の人口は戦後一貫して増加を続け、過去最高（図1、統計表第1表）
- 全国の人口は126,146,099人で前回調査と比べて948,646人（0.7%）減少、調査開始以来、初めての減少となった前回調査に引き続き人口減少

図2 区別人口の推移

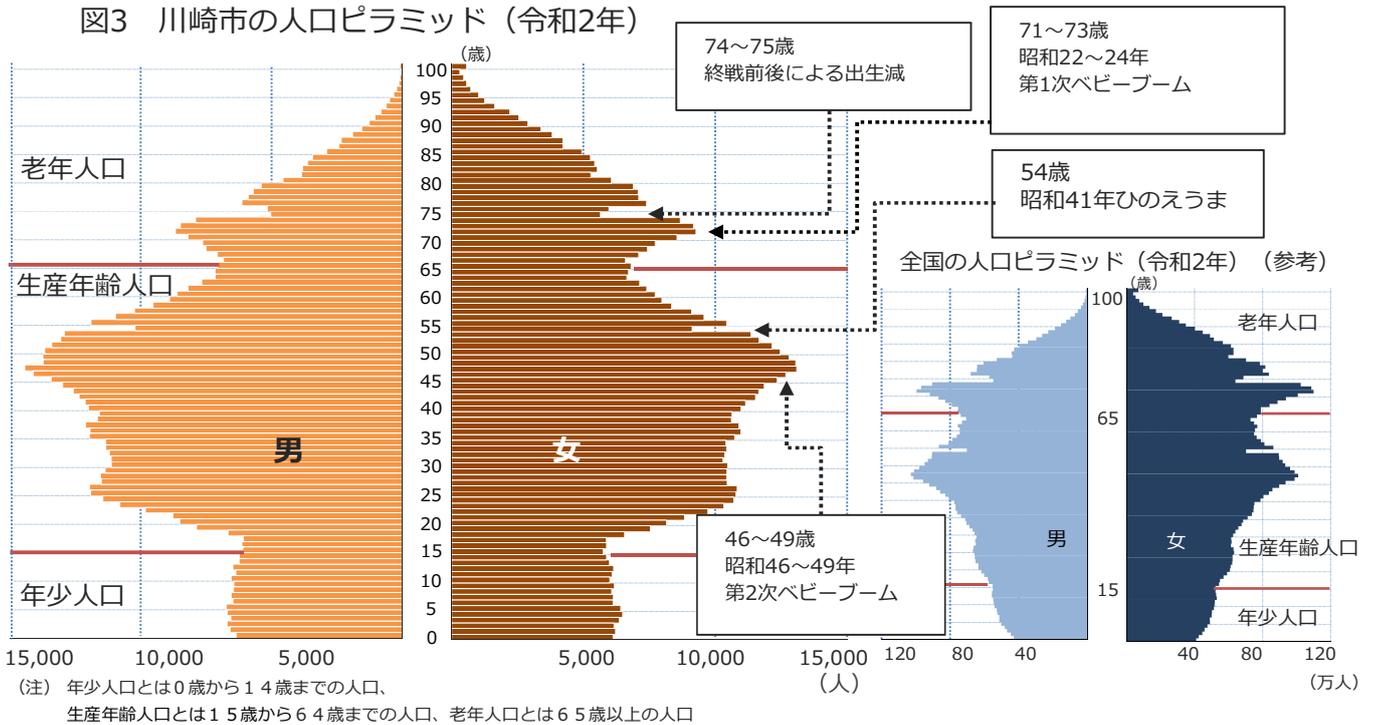


- 区別人口を多い順にみると、中原区263,683人、高津区234,328人、宮前区233,728人、川崎区232,965人、多摩区221,734人、麻生区180,705人、幸区171,119人
- 前回調査と比べて、市内の全ての区で人口が増加（図2）
- 区別の増加率を多い順にみると、中原区6.5%、幸区6.4%、川崎区4.3%、宮前区3.6%、多摩区3.5%、麻生区3.0%、高津区2.7%

# 年齢構成

(注) 平成27年及び令和2年の年齢別人口は、国が「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」による。

図3 川崎市の人口ピラミッド (令和2年)



●年齢構成を表した人口ピラミッドをみると、川崎市は40歳代の第2次ベビーブーム世代を中心とした生産年齢人口の膨らみが、全国に比べ大きい (図3)

図4 年齢3区分別人口割合の推移

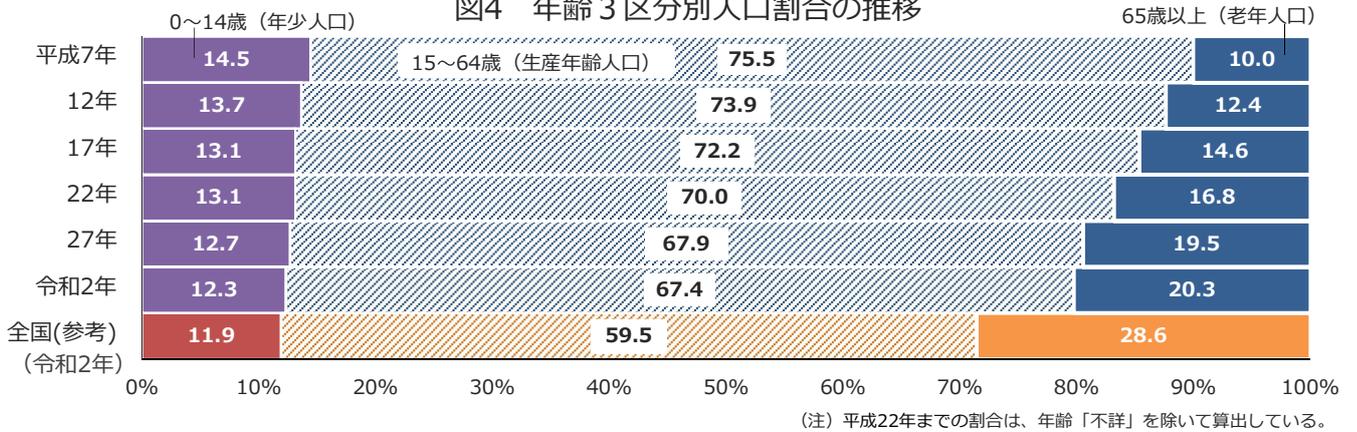


表1 年齢3区分別人口の推移 (人)

年次	総人口	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
昭和25年	319,226	111,673	199,110	8,414
30年	445,520	144,787	288,359	12,366
35年	632,975	169,766	445,504	17,705
40年	854,866	197,818	632,660	24,388
45年	973,486	225,034	715,726	32,726
50年	1,014,951	244,704	726,056	43,432
55年	1,040,802	238,647	743,092	58,238
60年	1,088,624	219,529	794,913	74,060
平成 2年	1,173,603	193,536	883,707	93,798
7年	1,202,820	173,707	907,801	120,373
12年	1,249,905	170,670	923,655	154,704
17年	1,327,011	174,264	957,712	194,176
22年	1,425,512	185,571	988,540	237,298
27年	1,475,213	186,952	1,001,295	286,966
令和 2年	1,538,262	189,578	1,037,169	311,515

(注) 平成22年までの数値は、総人口に年齢「不詳」を含む。

- 年少人口は189,578人となり、割合は12.3%で、前回調査から0.4ポイント減 (表1、図4)
- 生産年齢人口は1,037,169人となり、前回調査から35,874人増加した。割合は67.4%で、平成7年をピークとして、以降低下が続く (表1、図4)
- 老年人口は311,515人となり、割合は20.3%で、調査開始以来、初めて20%を超えた (表1、図4)
- 全国と比べると、生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が少ない (図4)

# 世帯の構成

図5 世帯総数及び1世帯当たり人員の推移

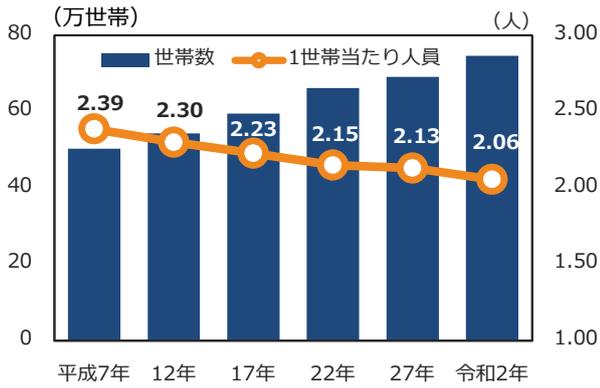


図6 区別世帯総数及び1世帯当たり人員 (令和2年)

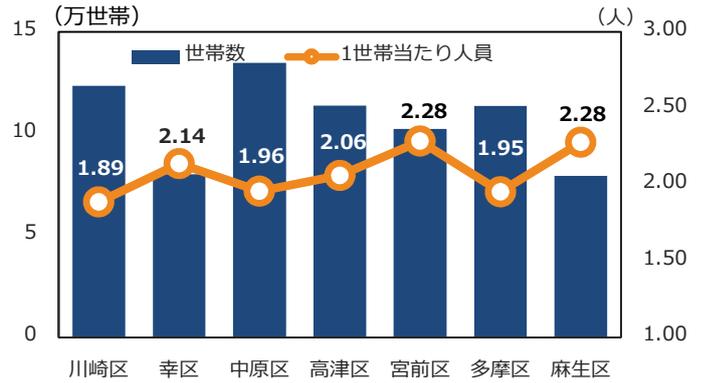
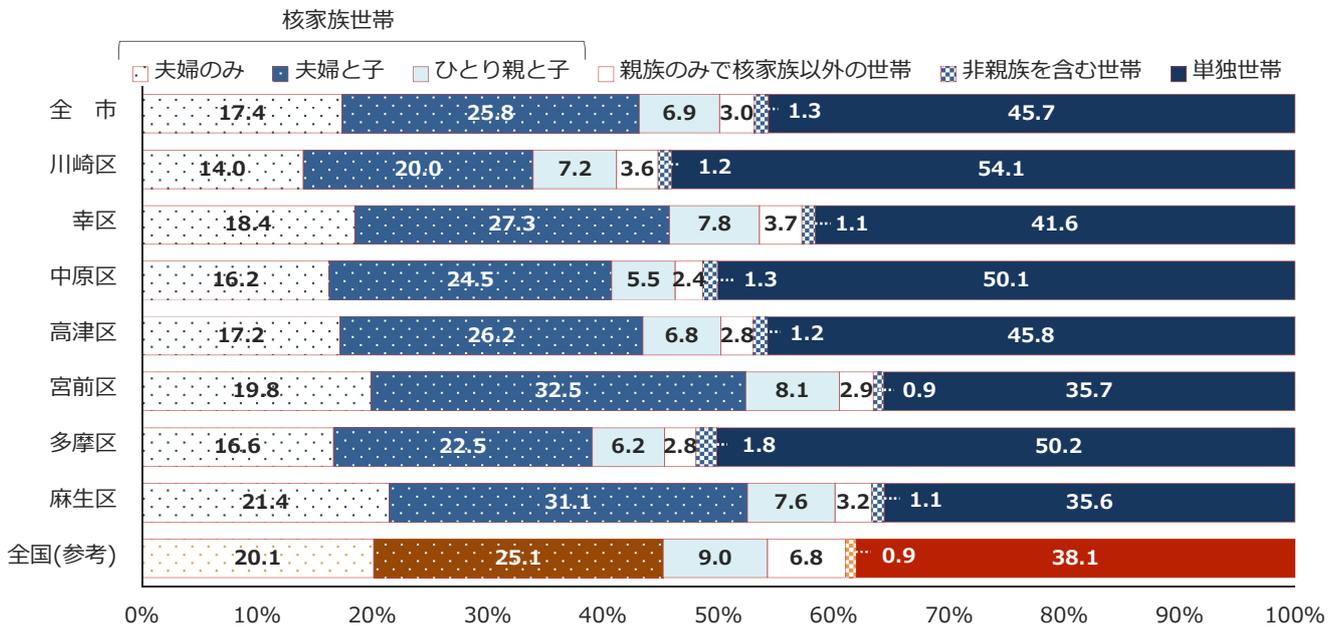
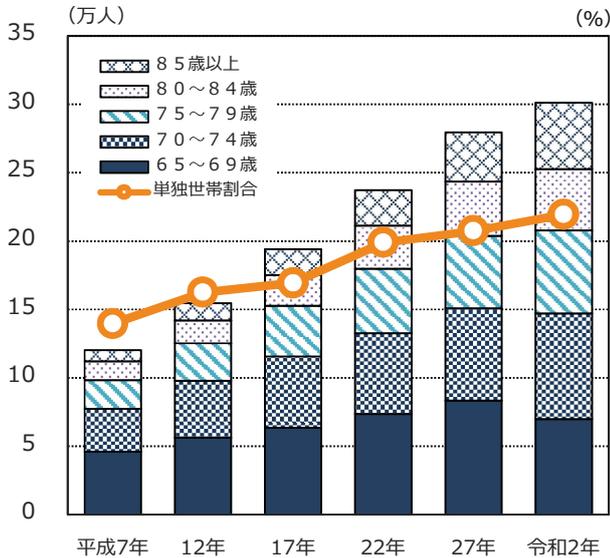


図7 区別一般世帯の家族類型別割合 (令和2年)



(注1) 一般世帯とは、「施設等の世帯」以外の世帯。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯  
 (注2) 割合は、世帯の家族類型「不詳」を除いて算出している。

図8 65歳以上人口及び65歳以上単独世帯割合の推移



(注) 65歳以上人口は原数値によるため、「不詳補完値」とは一致しない。

- 世帯総数は、747,452世帯で、前回調査(691,837世帯)と比べて55,615世帯(8.0%)増加  
 一般世帯は745,988世帯、施設等の世帯は1,464世帯

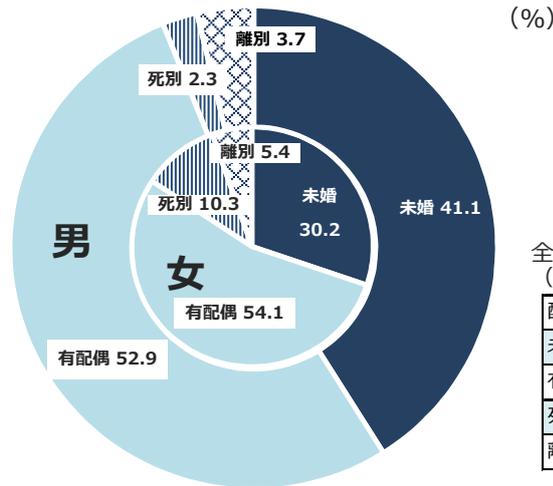
- 1世帯当たり人員は2.06人となり、前回調査と比べ0.07人減少し、過去最少  
 区別では川崎区、中原区及び多摩区が2人を下回る(図5、6)

- 一般世帯の家族類型別割合をみると、川崎市は全国と比べて単独世帯の割合が高く、川崎区、中原区及び多摩区では5割を超える(図7)

- 65歳以上人口のうち単独世帯は66,075世帯(21.9%)となり、65歳以上の5人に1人は一人暮らし世帯(全国は19.0%)(図8、統計表第5表)

# 配偶関係

図9 男女別15歳以上人口の配偶関係別割合（令和2年）



全国の配偶関係割合（参考）（令和2年）

配偶関係	男	女
未婚	34.6	24.8
有配偶	57.4	54.0
死別	3.3	14.4
離別	4.7	6.8

（注）国が「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」による。

●川崎市の男女別15歳以上人口（男678,469人、女670,215人）を配偶関係別にみると、未婚の割合は男性が女性より高く、有配偶、死別、離別の割合は女性が男性より高い（図9）

●全国と比べると、川崎市は未婚の割合が高く、死別、離別の割合が低い（図9）

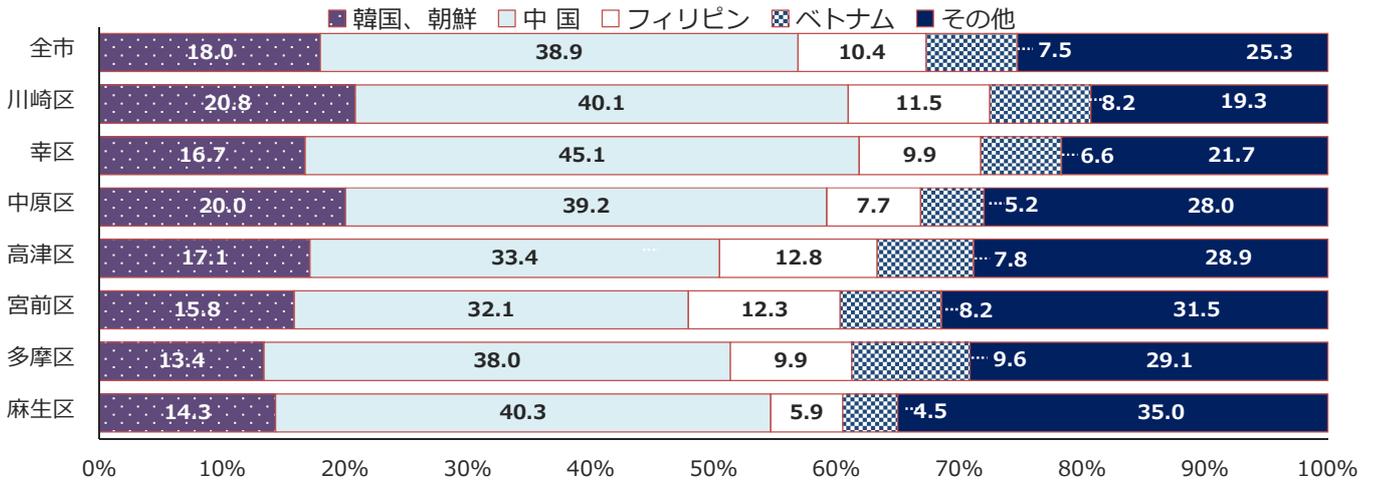
●配偶関係割合を年齢5歳階級別に若い方からみていくと、有配偶が未婚を上回るのは、男性が35～39歳から、女性は30～34歳から（統計表第6表）

# 外国人人口

●川崎市の国籍別外国人人口（総数38,482人）を多い順にみると、「中国」が14,953人、「韓国、朝鮮」が6,921人、「フィリピン」が4,014人、「ベトナム」が2,870人（図10、統計表第7表）

●全区で「中国」が最も割合が多く、全体の3割～4割を占める（図10）

図10 国籍別外国人割合（令和2年）

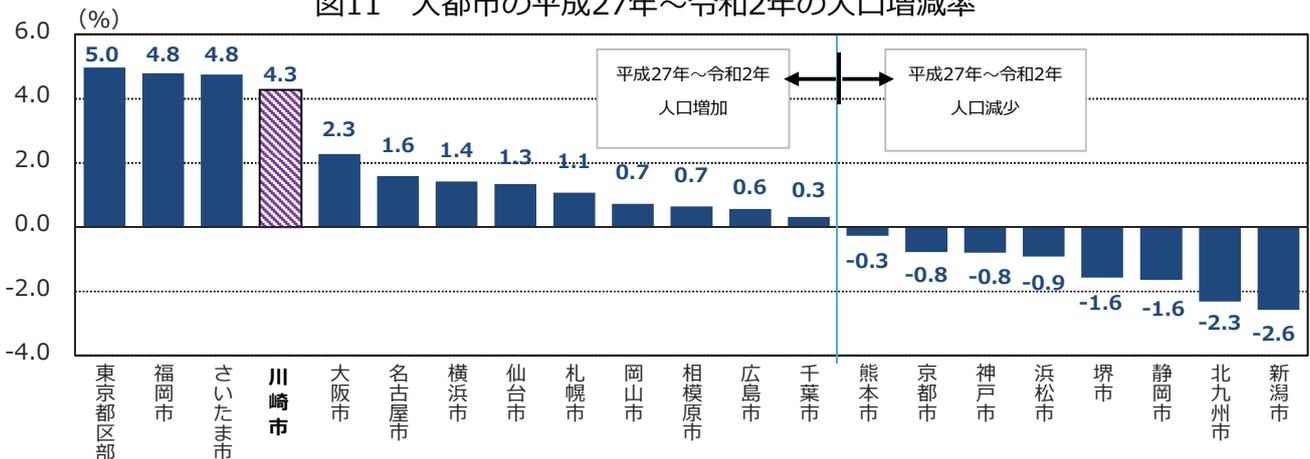


（注）「その他」には無国籍及び国名「不詳」を含む。

# 大都市比較

（注）大都市＝20政令指定都市及び東京都区部の21大都市

図11 大都市の平成27年～令和2年の人口増減率



●川崎市の総人口は、大都市中7番目（政令指定都市中6番目）に多い（表2）

●前回調査との人口増減率を大都市で比較すると、川崎市は増加率4.3%で、東京都区部、福岡市、さいたま市に次いで4位（図11）

表2 大都市の人口総数（令和2年）

順位	都市	人口総数 (人)
1	東京都区部	9,733,276
2	横浜市	3,777,491
3	大阪市	2,752,412
4	名古屋市	2,332,176
5	札幌市	1,973,395
6	福岡市	1,612,392
7	川崎市	1,538,262
8	神戸市	1,525,152
9	京都市	1,463,723
10	さいたま市	1,324,025
11	広島市	1,200,754
12	仙台市	1,096,704
13	千葉市	974,951
14	北九州市	939,029
15	堺市	826,161
16	浜松市	790,718
17	新潟市	789,275
18	熊本市	738,865
19	相模原市	725,493
20	岡山市	724,691
21	静岡市	693,389

図12 大都市の年齢3区分別人口割合（令和2年）

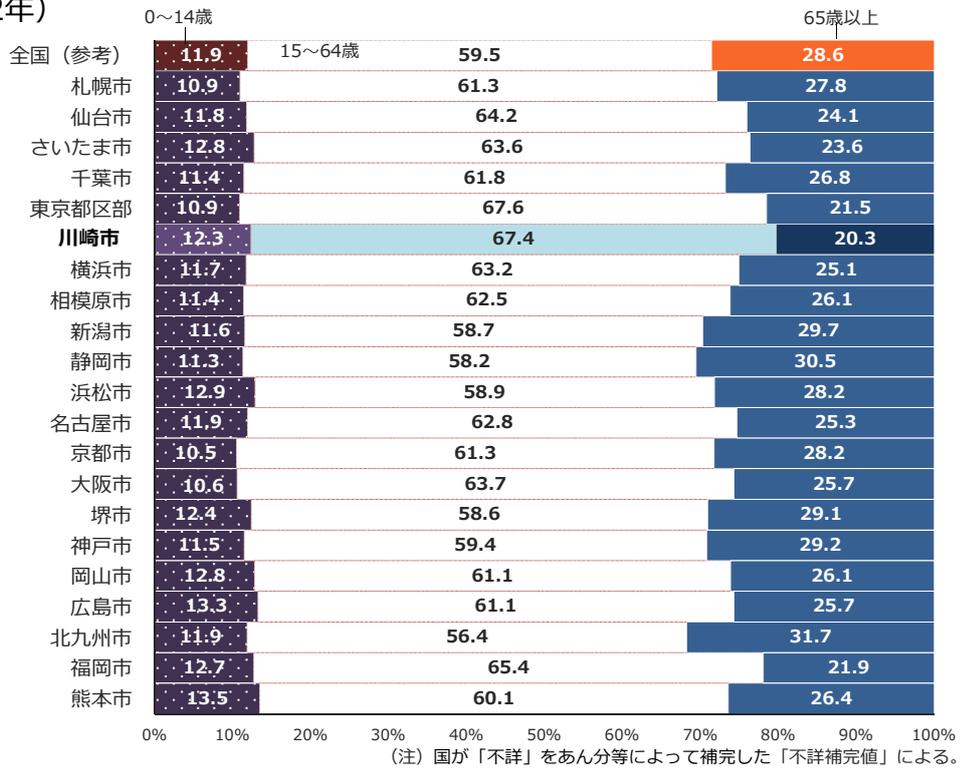
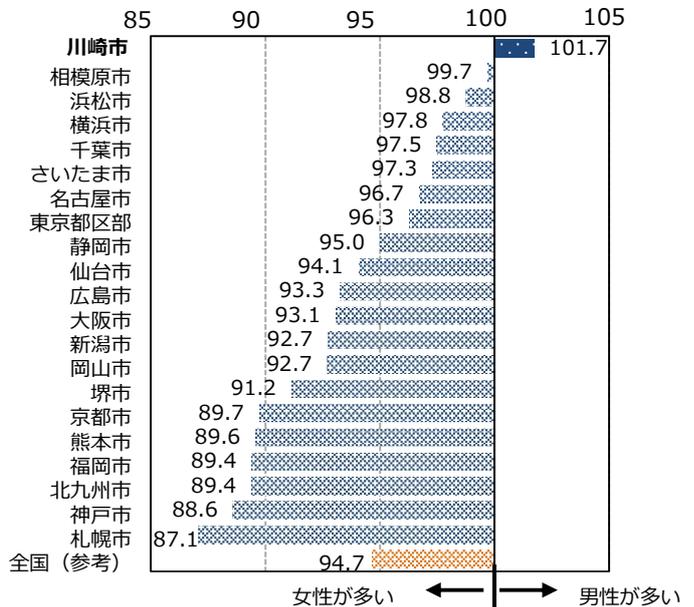


図13 大都市の性比（女性100人に対する男性の数）（令和2年）

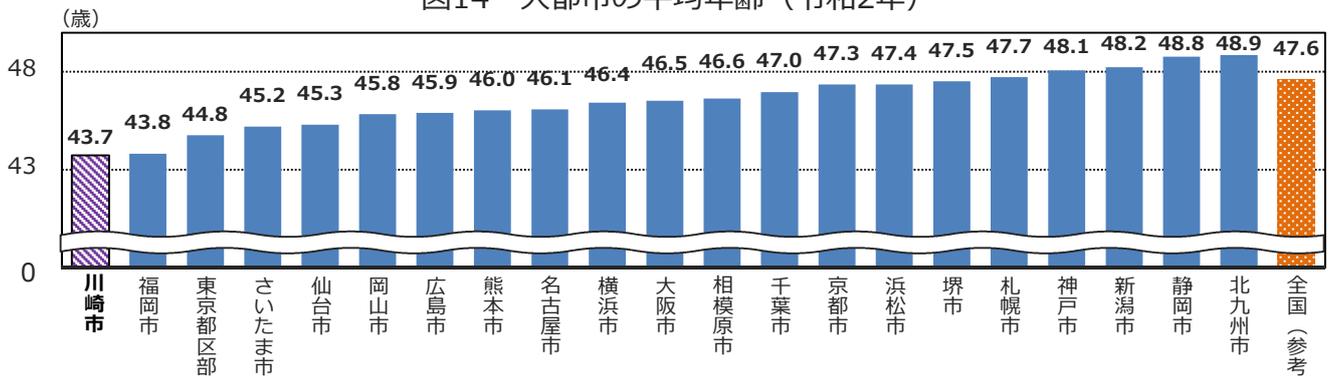


●年齢3区分別人口割合をみると、大都市中、川崎市は生産年齢人口の割合が東京都区部に次いで2番目に高く、老年人口の割合が最も低い（図12）

●川崎市の性比は低下傾向にあるものの、100を超えており大都市中、唯一男性の数が女性の数より多い（図13）

●川崎市の平均年齢は43.7歳で大都市中、最も若い（図14）

図14 大都市の平均年齢（令和2年）



# 統計表 (川崎市分)

第1表 国勢調査人口の推移

単位：人、%

年次別	世帯数	人 口			性比	増加人口	増加率 (%)	回
		総数	男	女				
大正 9年	16,279	85,189	43,454	41,735	104.1	-	-	第 1 回国勢調査
14年	22,465	113,034	58,180	54,854	106.1	27,845	32.7	第 2 回国勢調査
昭和 5年	30,190	148,165	76,483	71,682	106.7	35,131	31.1	第 3 回国勢調査
10年	37,218	191,700	99,820	91,880	108.6	43,535	29.4	第 4 回国勢調査
15年	58,087	300,979	165,673	135,306	122.4	109,279	57.0	第 5 回国勢調査
22年	53,109	252,923	133,714	119,209	112.2	△ 48,056	△ 16.0	第 6 回国勢調査
25年	69,195	319,226	166,023	153,203	108.4	66,303	26.2	第 7 回国勢調査
30年	98,755	445,520	231,894	213,626	108.6	126,294	39.6	第 8 回国勢調査
35年	159,051	632,975	334,490	298,485	112.1	187,455	42.1	第 9 回国勢調査
40年	235,791	854,866	451,537	403,329	112.0	221,891	35.1	第 10 回国勢調査
45年	289,959	973,486	511,073	462,413	110.5	118,620	13.9	第 11 回国勢調査
50年	326,203	1,014,951	532,890	482,061	110.5	41,465	4.3	第 12 回国勢調査
55年	377,397	1,040,802	543,269	497,533	109.2	25,851	2.5	第 13 回国勢調査
60年	404,762	1,088,624	569,061	519,563	109.5	47,822	4.6	第 14 回国勢調査
平成 2年	466,084	1,173,603	617,425	556,178	111.0	84,979	7.8	第 15 回国勢調査
7年	503,711	1,202,820	629,804	573,016	109.9	29,217	2.5	第 16 回国勢調査
12年	543,088	1,249,905	649,997	599,908	108.3	47,085	3.9	第 17 回国勢調査
17年	595,513	1,327,011	687,080	639,931	107.4	77,106	6.2	第 18 回国勢調査
22年	662,694	1,425,512	728,525	696,987	104.5	98,501	7.4	第 19 回国勢調査
27年	691,837	1,475,213	749,038	726,175	103.1	49,701	3.5	第 20 回国勢調査
<b>令和 2年</b>	<b>747,452</b>	<b>1,538,262</b>	<b>775,772</b>	<b>762,490</b>	<b>101.7</b>	<b>63,049</b>	<b>4.3</b>	<b>第 21 回国勢調査</b>

(注1) 現在の市域に組み替えた人口。(注2) 昭和5年の世帯数は、戸籍(12月末日現在)による。(注3) 性比とは、女性100人に対する男性の数。

第2表 区別年齢3区分別人口と割合

単位：人、%

区 分	総 数	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		人 口	割合(%)	人 口	割合(%)	人 口	割合(%)
<b>川 崎 市</b>	<b>1,538,262</b>	<b>189,578</b>	<b>12.3</b>	<b>1,037,169</b>	<b>67.4</b>	<b>311,515</b>	<b>20.3</b>
川 崎 区	232,965	24,818	10.7	155,993	67.0	52,154	22.4
幸 区	171,119	22,919	13.4	110,989	64.9	37,211	21.7
中 原 区	263,683	34,081	12.9	189,253	71.8	40,349	15.3
高 津 区	234,328	29,342	12.5	160,525	68.5	44,461	19.0
宮 前 区	233,728	31,932	13.7	152,101	65.1	49,695	21.3
多 摩 区	221,734	23,447	10.6	154,346	69.6	43,941	19.8
麻 生 区	180,705	23,039	12.7	113,962	63.1	43,704	24.2

(注) 国が「不詳」をあん分等によって補充した「不詳補充値」による。

第3表 家族類型別一般世帯数の推移

単位：世帯

区 分	総数	親 族 の み の 世 帯								非親族を 含む世帯	単独世帯
		総 数	核 家 族 世 帯			核家族		以外の世帯			
			総数	夫婦のみ	夫婦と子	男親と子	女親と子				
平成22年	660,400	371,214	341,516	114,906	181,210	7,101	38,299	29,698	8,500	280,630	
27年	689,886	377,947	351,736	119,855	184,855	7,404	39,622	26,211	9,106	294,648	
<b>令和2年</b>	<b>745,988</b>	<b>395,854</b>	<b>373,427</b>	<b>129,421</b>	<b>192,437</b>	<b>7,758</b>	<b>43,811</b>	<b>22,427</b>	<b>9,332</b>	<b>340,715</b>	

(注) 総数には、世帯の家族類型不詳を含む。

第4表 区別家族類型別一般世帯数

単位：世帯

区 分	総数	親 族 の み の 世 帯								非親族を 含む世帯	単独世帯
		総 数	核 家 族 世 帯			核家族					
			総数	夫婦のみ	夫婦と子	男親と子	女親と子	以外の世帯			
<b>川 崎 市</b>	<b>745,988</b>	<b>395,854</b>	<b>373,427</b>	<b>129,421</b>	<b>192,437</b>	<b>7,758</b>	<b>43,811</b>	<b>22,427</b>	<b>9,332</b>	<b>340,715</b>	
川 崎 区	122,879	54,983	50,554	17,175	24,525	1,411	7,443	4,429	1,428	66,457	
幸 区	80,003	45,791	42,849	14,759	21,848	936	5,306	2,942	901	33,310	
中 原 区	134,619	65,410	62,232	21,842	32,977	1,068	6,345	3,178	1,812	67,360	
高 津 区	113,575	60,192	57,002	19,541	29,769	1,163	6,529	3,190	1,411	51,964	
宮 前 区	102,189	64,789	61,789	20,273	33,211	1,204	7,101	3,000	918	36,466	
多 摩 区	113,427	54,507	51,363	18,828	25,482	1,122	5,931	3,144	2,006	56,903	
麻 生 区	79,296	50,182	47,638	17,003	24,625	854	5,156	2,544	856	28,255	

(注) 総数には、世帯の家族類型不詳を含む。

第5表 区別65歳以上世帯員のいる一般世帯数

単位：世帯、%

区 分	一 般 世 帯				一般世帯に占める割合 (%)			65歳以上人口 に占める 65歳以上単独 世帯の割合 (%)
	総 数	65歳以上 世帯員のいる 一般世帯	うち夫65歳以上、 妻60歳以上の 夫婦のみ世帯	うち 65歳以上 単独世帯	65歳以上 世帯員のいる 一般世帯	うち夫65歳以上、 妻60歳以上の 夫婦のみ世帯	うち 65歳以上 単独世帯	
川崎市	745,988	199,299	55,881	66,075	26.7	7.5	8.9	21.9
川崎区	122,879	34,722	7,497	13,385	28.3	6.1	10.9	26.9
幸 区	80,003	24,481	6,224	8,406	30.6	7.8	10.5	22.9
中原区	134,619	26,826	7,084	9,266	19.9	5.3	6.9	23.6
高津区	113,575	28,103	7,795	9,222	24.7	6.9	8.1	21.4
宮前区	102,189	30,909	9,781	9,388	30.2	9.6	9.2	20.0
多摩区	113,427	27,780	8,217	8,822	24.5	7.2	7.8	20.7
麻生区	79,296	26,478	9,283	7,586	33.4	11.7	9.6	17.8

(注) 65歳以上人口は原数値によるため、「不詳補完値」とは一致しない。

第6表 配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口

単位：人

年 齢	男				女			
	未 婚	有配偶	死 別	離 別	未 婚	有配偶	死 別	離 別
総 数	278,604	358,638	15,808	25,419	202,489	362,409	69,339	35,978
15～19歳	32,743	75	3	10	31,436	94	2	9
20～24	47,990	1,231	16	47	45,504	2,105	12	71
25～29	46,851	11,134	13	224	37,060	15,418	14	421
30～34	30,306	24,979	21	790	20,964	29,891	22	1,053
35～39	23,665	34,130	44	1,379	14,513	37,562	98	1,648
40～44	20,192	39,784	95	1,929	11,710	42,657	212	2,560
45～49	21,828	44,250	208	3,097	12,224	47,163	490	4,048
50～54	17,901	41,505	409	3,413	9,367	41,719	904	4,732
55～59	12,531	35,245	542	3,191	6,072	33,152	1,506	4,665
60～64	8,195	26,920	778	2,845	3,629	25,861	2,241	3,851
65～69	6,857	25,257	1,229	2,718	2,796	24,911	4,284	3,656
70～74	5,604	27,510	2,203	2,934	2,731	26,529	8,064	3,963
75歳以上	3,941	46,618	10,247	2,842	4,483	35,347	51,490	5,301

(注) 国が「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」による。

第7表 区別国籍別外国人人口

単位：人

区 分	総 数	韓国、朝鮮	中 国	フィリピン	ベトナム	インド	ネパール	そ の 他
川崎市	38,482	6,921	14,953	4,014	2,870	1,150	1,223	7,351
川崎区	13,134	2,735	5,270	1,512	1,082	513	376	1,646
幸 区	4,844	811	2,185	479	319	163	215	672
中原区	5,240	1,049	2,053	401	270	122	216	1,129
高津区	4,685	802	1,563	601	367	119	169	1,064
宮前区	3,385	536	1,087	418	279	73	40	952
多摩区	4,494	601	1,707	444	432	70	180	1,060
麻生区	2,700	387	1,088	159	121	90	27	828

(注) 「その他」には無国籍及び国名「不詳」を含む。

国勢調査に  
御協力ありがとう  
ございました！



調査結果の詳細をまとめた  
報告書「川崎市の人口」を  
今後、集計区分ごとに  
順次発行していきます！

令和3(2021)年12月発行  
問合せ先 川崎市総務企画局情報管理部  
統計情報課  
TEL:044(200)2069  
FAX:044(200)3799



【参考】令和2年国勢調査の集計体系及び結果の公表・提供等一覧（総務省統計局）

集計区分		集計内容	産業分類	職業分類	集計対象	表章地域	全国結果の公表予定時期	結果の公表及び提供の方法
速報集計	人口速報集計 (要計表による人口集計)	男女別人口及び世帯数の早期提供	—	—	全数	全国、都道府県、市区町村	令和3年6月25日 公表済	インターネットを利用する方法等によって公表。人口は公表日に官報に公示。
基本集計	人口等基本集計	人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯、母子・父子世帯、親子の同居等に関する結果	—	—	全数	全国、都道府県、市区町村	令和3年11月30日 公表済	全都道府県一括でインターネットを利用する方法等によって公表。おいて、報告書を刊行。人口等基本集計の人口及び世帯数（確定人口・世帯数）は公表後に官報に公示。
	就業状態等基本集計	人口の労働力状態、夫婦、子供のいる世帯等の産業・職業大分類別構成に関する結果	大分類	大分類			令和4年5月	全都道府県一括でインターネットを利用する方法等によって公表。おいて、報告書を刊行。
抽出詳細集計		就業者の産業、職業小分類別構成等に関する詳細な結果	小分類	小分類	抽出	全国、都道府県、市区町村	令和4年12月	同上
従業地・通学地集計	従業地・通学地による人口・就業状態等集計	従業地・通学地による人口の基本的構成及び就業者の産業・職業大分類別構成に関する結果	大分類	大分類	全数	全国、都道府県、市区町村	令和4年7月	集計が完了した後、インターネットを利用する方法等によって公表。おいて、報告書を刊行。
人口移動集計	移動人口の男女・年齢等集計	人口の転出入状況に関する結果	—	—	全数	全国、都道府県、市区町村	令和4年2月	同上
	移動人口の就業状態等集計	移動人口の労働力状態、産業・職業大分類別構成に関する結果	大分類	大分類		全国、都道府県、市区町村	令和4年8月	
小地域集計	人口等基本集計に関する集計	人口、世帯、住居に関する基本的な事項の結果	—	—	全数	町丁・字等、基本単位区、地域メッシュ	該当する基本集計等の公表後に集計し、地理データ等を活用して秘匿処理を施した上で、速やかに公表。	集計が完了した後、インターネットを利用する方法等によって公表。
	就業状態等基本集計に関する集計	人口の労働力状態及び就業者の産業・職業大分類別構成に関する基本的な事項の結果	大分類	大分類				
	従業地・通学地による人口・就業状態等集計に関する集計	常住地による従業地・通学地に関する基本的な事項の結果	—	—				
	移動人口の男女・年齢等集計に関する集計	5年前の常住地に関する基本的な事項の結果	—	—				

- 1) 「産業分類」及び「職業分類」欄は、該当する分類を用いた集計結果があることを示す。
- 2) 「表章地域」欄は、該当集計区分で集計する地域を表しているが、必ずしも全ての統計表がその地域まで集計されるわけではない。

※国勢調査の詳しい結果につきましては、以下のページで御覧になれます。

総務省統計局のホームページ <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>

政府統計の総合窓口「e-Stat」 <https://www.e-stat.go.jp/>